

100%



→ OUR WAY OF THINKING

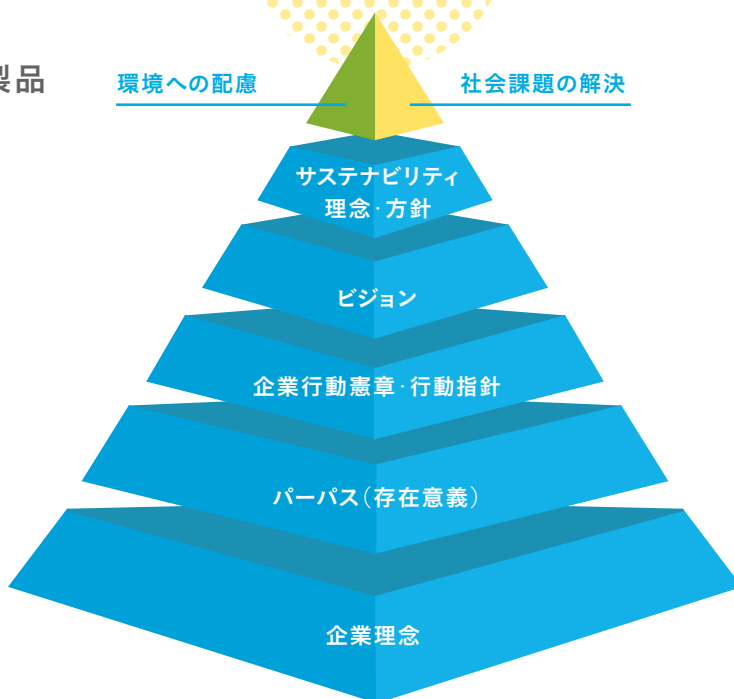
私たちの考え方

自然と共存できるプラスチック製品 人々の健康に役立つオーラルケア製品

私たちは、住宅・食品・スマートフォン・車などあらゆる場面でプラスチックに支えられ、その恩恵で安全・安心な生活をおくっています。実際に「脱プラ」では生活できず、プラスチックは日常生活に欠かせない大きな役割を果たしています。

当社のビジョン（オーラルケア製品トップ企業）、使命（人々の健康と暮らしに貢献）、理念（従業員の成長と幸福）である「健口＝健康＝健幸」に基づき、これからも持続可能な地球と社会をめざし役割を果たしていきます。

持続可能な地球と社会



パーパス（存在意義）

365日を支える。

毎日の生活において欠かすことのできない日用品を提供し、
365日欠かさず生活を支えています。



ビジョン

- オーラルケア製品の生産・開発において世界トップ企業を目指す
- 一歩先のプラスチック製品を開発し、顧客に驚きと感動を与える企業となる

企業理念

- モノづくりを通じて従業員の成長と幸福を実現し市場のニーズに挑戦し続ける

→ SUSTAINABILITY POLICY

ヤマトエスロン サステナビリティ方針

基本理念

人にやさしく 地球にやさしく

従業員一人ひとりが思いやりを大切に、責任を持った行動をします。

基本方針

私たちは、人々の健康と暮らしを支える企業として、
「未来をみつめ、考え、創造する」創業精神に基づき、
モノづくりを徹底追求し、持続可能な社会の実現に貢献します。

- 環境保全に配慮した事業活動
- 主体的な社会貢献活動
- 安全安心で価値あるサービスの提供
- 健全な経営の維持
- 社会課題を改善解決できる人材育成
- 健康で明るく働きやすい職場づくり
- 口腔ケアで人々を健康に幸せにする

→ TOP MESSAGE

人間が生きていくためには、食べることは不可欠です。体の「健康」を維持するためには、お口の「健康（健口）」は欠かせません。そのためには、いつまでも自分の「健康な歯」を保ち続けることが必要です。当社では、日々の口腔ケアに欠かせない「歯ブラシ」を90年以上つくり続け、いまでは歯ブラシ・フロスなど様々なオーラルケア製品を提供しています。

歯は一度失うと二度と再生しませんが、地球環境も同じです。

持続可能な地球環境の実現には、プラスチック＝悪という単純な風潮ではなく、紙、木、鉄、水、あらゆる限りある資源を大切にしなければいけません。

なによりフードロス削減など人類の大きな行動変容が求められています。

当社では「人にやさしく 地球にやさしく」を共通スローガンとして、多くの社会課題、環境配慮への取り組みをすすめてまいります。

松永 貴至

ヤマトエスロン株式会社 代表取締役社長

INDEX 目次

03-04

環境への取り組み

05-06

社会貢献活動

07-08

口腔ケアで人々を幸せにする

09

オーラルケア×防災

10-11

2025年大阪・関西万博出展

12-14

人材育成について

15-16

健康で働きやすい職場づくり

17

サプライチェーンの取り組み

18

コーポレートガバナンス
リスクマネジメント&
コンプライアンス

ENVIRONMENTAL INITIATIVES

環境への取り組み



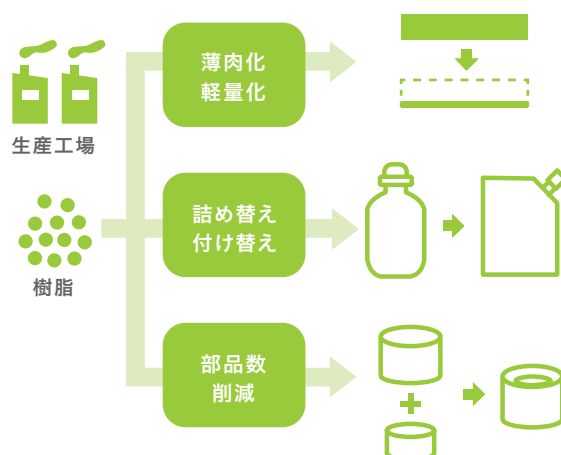
当社では全社で環境への取り組みを推進しており、CO₂排出量の削減、環境対応製品の開発など、積極的に取り組んでいます。

ヤマトエスロン中長期環境目標指針

2030年までに当社取り扱い製品の**80%**を
環境対応製品に置き換える

2025年実績 **59%**

- 1 従業員ひとりひとりが環境保全の意識を持ち行動する
- 2 資源・エネルギーの大切さを理解し、有効利用に努める
- 3 環境に配慮した製品の開発を推進する
- 4 環境に関する法的要求事項を遵守する
- 5 社会における環境保全活動に積極的に参画する



環境に関する外部認証

2024年度、経済産業省資源エネルギー庁による省エネ取り組み評価（事業者クラス分け制度）において、2021年度以来二度目のSクラス（省エネ優良事業者）に選定されました。

また、2025年9月にはタイ現地法人でISCC PLUS認証を取得。ISCCは持続可能な原料（バイオマス、リサイクル等）が、調達から製品化まで適切に管理・利用されていることを第三者が保証する国際制度です。本認証を通じて、サプライチェーンの透明性向上と環境に配慮した経営に取り組んでまいります。

環境対応製品の開発

バイオマス原料の使用促進

I (例) バイオPE



リサイクル原料の使用推進

I (例) PP, PE 粉碎



樹脂量の削減

（減量化、薄肉化、パーツ数減など）

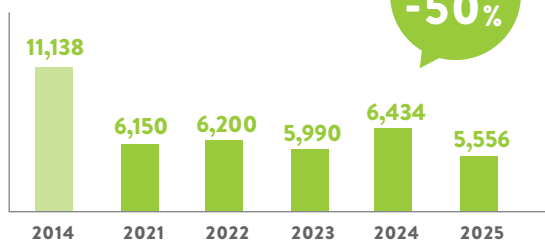
一般的な歯ブラシの
樹脂量（約10g）を極限まで
削減した歯ブラシは **2.5g!!**



低炭素社会に向けて

取組結果 過去12年間でCO₂排出量 **50%削減**

CO₂排出量推移(単位:t)
(2014年から2025年)



産業廃棄物量 2025
(2024年4月から2025年3月)

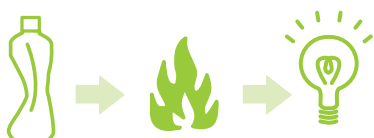
269t

プラスチックの将来に向けて

プラスチックのリサイクル方法には大きく分けて3つあり、
いわゆる「リサイクル」として一般的にイメージされているのは「マテリアルリサイクル」です。(日本ではサーマルリサイクルが最多)

リサイクル3つの方法

ペットボトルリサイクルの場合



サーマルリサイクル

エネルギーを回収



ケミカルリサイクル

化学的に処理



マテリアルリサイクル

再利用

マテリアルリサイクルの仕組み



原材料としての品質を保つためには、分別や洗浄が重要。

マテリアルリサイクルは工程が長く、膨大なエネルギー、コストがかかります。またその原材料を利用できる製品も限られ、長い年月をかけ仕組みが確立しているペットボトルであっても、ボトルからボトルへの割合は約30%。

リサイクルには消費者・市町村・専門メーカーと、様々な協力者が必要です。

リサイクルをめぐる課題や技術など、現状をしっかりと理解し、将来への取組みを考えていきます。

→ SOCIAL CONTRIBUTION ACTIVITIES

社会貢献活動



「人にやさしく」のサステナビリティ基本理念に基づき、
全従業員が思いやりを持ち、社会貢献活動に取り組んでいます。
各事業所の取り組みについてご紹介します。

静岡工場



袋井市主催で、地元の高校生
に働くことに興味を持ってもら
おうと企業見学を実施。
また、実習生をメインに自転車
安全講習を開催しています。正
しい知識を身につけて、無事故
無違反!

関東工場



国際女性デーにお花とギフト
を全従業員に贈りました。女性
には男性職員より感謝をこめ
て、男性にはパートナーや日頃
お世話になっている女性へ贈っ
ていただくために配布しまし
た。また、積極的に献血を実施
しています。

大阪工場



備蓄用パンの賞味期限が切れる前に、義援先に寄附して新し
いものを購入する「救缶鳥プロジェクト」に参加。「大和川・石川
クリーン作戦」では、近隣企業含め大きな規模でゴミ拾い等を
実施しています。

福岡工場



毎年、玄界灘の海辺のゴミを拾いながら走るイベントに参加。また、周辺企業にも協力いただき、献血活動を実施しています。

タイ工場



「社会的障害者雇用促進事業所」として、2023年～2025年の3年連続で表彰を受けております。
また、社内で使用していたパソコンや家具などを学校や各種公共施設に寄付しています。

スポーツ協賛



地域および次世代人材の活躍を支援するため、スポーツ分野への協賛を行っています。学生e-sports連盟にはアドバンスパートナーとして参画し、「LOLイーカレ SummerCup 2025 powered by ヤマトエスロン」の冠スポンサーを務めるなど、大会運営を支援しています。また、FC大阪および大阪エヴェッサにおいてはゴールドパートナーとして協賛。社内団体観戦の実施により、社内交流の促進にも活用しています。

→ HAPPINESS THROUGH ORAL CARE

口腔ケアで人々を幸せにする



90年以上培った技術を生かし、
「健口＝健康＝健幸」につながる活動に取り組んでいます。

国民病と言われる歯周病



2020年11月受賞「(はばたく中小企業300社)」

口腔細菌検出装置 orcoa(オルコア)で 予防歯科を推進!

歯周病は歯を失う原因の第一位であるとともに、糖尿病や誤嚥性肺炎、認知症など全身疾患への関連が近年明らかになってきています。そのような中で、オルコアは遺伝子検査技術を応用し、歯周病原因菌を迅速かつ手軽に検出できる装置として開発されました。

第68回春季日本歯周病学会学術大会では、2025年の社内歯科検診と口腔細菌検査の研究成果を基にポスター発表を実施し、歯周病リスクの補助的評価に活用できることや清掃習慣との関連を報告しました。これらの取り組みを通じ、健口＝健康＝健幸の実現に貢献していきます。

細菌検査の応用

オルコアは新型コロナウイルスの検査でも使われているPCRと言う技術が使われている装置です。この原理を利用して全く別の使い方をすることで皆さまを『健幸』にする試みも始まっています。

このオルコアの技術を活用し、 口腔内以外の分野であるスキンケアへ

その場ですぐにお肌の皮膚常在菌を測定できる装置「肌こあ」を株式会社資生堂と共同開発しました。2025年4月より資生堂銀座本店「SHISEIDO THE STORE」にて、新サービス「美肌菌測定」をスタート。2025年に開催されたドラッグストアショーでは、資生堂ブースにて来場者に「肌こあ」を体験いただきました。



八尾市と連携したオーラルケア啓発活動

2024年9月、八尾市とヤマトエスロンは、口腔ケアを通じた地域の健康推進に関する連携協定を締結しました。本協定では、平時・非常時の双方における健康意識の向上や、地域産業の発展に向けた取り組みを推進します。

包括連携協定に基づき、2025年9月には八尾市立高美小学校で特別出前授業「おくちのちを守るため備えておきたい『知識』と『ハミガキ』」を開催しました。



新たな価値創出(オーラルケア×他分野)



歌や動画を通じて親子で楽しく正しい歯みがきを学べる「ハミガキマスターセット」を展開。お子様の歯みがき習慣化を支援しています。

chocoZAPとのコラボレーションにより、外出先やスキマ時間でも手軽に使用できる「チョコッとミニハブラシ」を開発し、日常生活の中で継続しやすいオーラルケア製品を提案しています。



産学連携プロジェクト「Sカレ2025」にテーマ企業として初参画し、「ギフト用オーラルケア製品」をテーマに学生と共同開発を実施。

自社の技術と信頼に学生の柔軟な発想を掛け合わせることで、オーラルケアの可能性拡張と市場の裾野拡大を目指しました。

株式会社文響社とコラボ!「うんこドリル お口の健康」を制作

次世代を担う子どもたちに歯みがきやオーラルケアの大切さを知っていただくため、株式会社文響社「うんこドリル」シリーズとのコラボ企画として、オーラルケア啓蒙冊子「うんこドリル お口の健康」を制作しました。八尾市を含め、全国の小学校への冊子寄贈を行っています。

ハミガキは毎日する行為なのに、とくに子供は「めんどくさい」とネガティブな気持ちが先行しがちです。「うんこドリル」の楽しみながら学べる力をお借りし、ハミガキの大切さを学び、毎日のハミガキを楽しくしてもらえたらいいと考えています。カラダの入口の「お口」、カラダの出口からでる「うんこ」、入口出口の最強タッグでハミガキの大切さがひとりでも多くの人に伝われば幸いです。

当社代表取締役社長：松永貴至よりコメント



©Y.F/BKS

➡ ORAL CARE × DISASTER RISK REDUCTION

オーラルケア×防災



災害時も「365日」の1日。「365日を支える」をパーパスに掲げる当社は、2021年よりオーラルケア×防災の取り組みを開始しました。

災害時の口腔ケアの重要性

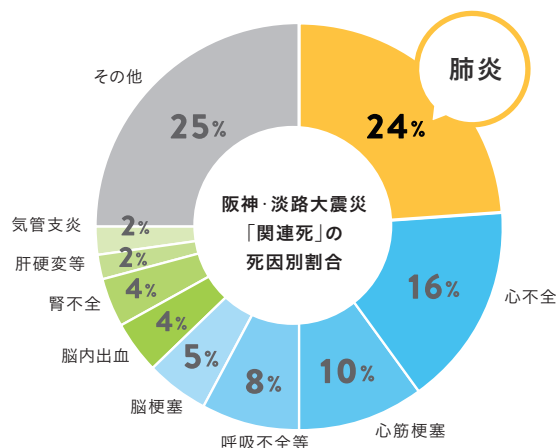
災害時など、非常時には水の確保が難しくなるため、お口のケアは後回しになりがちです。しかし、オーラルケアが疎かになるとお口の細菌が増え、さまざまな病気の原因に。いつもの生活が送れないときだからこそ、オーラルケアは大切です。

被災された歯科医師のお話

私は、1995年に発生した阪神・淡路大震災で被災しました。避難所での支援活動の中で多くの高齢者が関連死、とくに誤嚥性(ごえんせい)肺炎で亡くなるのを目の当たりにしました。東日本大震災や豪雨災害でも肺炎が関連死の中で最多了。誤嚥性肺炎の原因は口の汚れ(細菌)です。口腔ケアが命を守るのです。

■さらにお子様の場合

救援物資には日持ちのする、甘いお菓子やパンも多く、むし歯になる人が増えると言われています。大人の歯に比べて歯質の弱い子どもは、なおさらです。



※2004年5月14日付神戸新聞記事より作図

無水ハミガキセットの開発

「もしもの時、ハミガキで救えるいのちがある」をコンセプトに、水がなくてもハミガキができるセットを考案し、2023年3月11日に発売開始しました。

■無水ハミガキセット商品概要

- 無水ハブラシ 6本
- フロス 6本
- YEハミガキシート(口腔化粧品)1袋(10枚入)
- リーフレット

救援物資が届くまでの3日間を想定した1人分のセットです。(2回/1日使用想定)



2024年12月にフェーズフリー認証を取得



→ EXHIBITING AT Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan

2025年大阪・関西万博出展



大阪ヘルスケアパビリオン内の 株式会社りそな銀行が企画する 『Resona Mirai Color』に出展

ヤマトエスロンのグループ会社であるオルコアは、大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオン内において、りそな銀行が企画する「Resona Mirai Color」に出展し、歯周病予防の重要性をテーマとした展示を実施しました。



楽しみながら学ぶ「歯周病」



WebAR体験「歯周病の鏡」

WebAR技術を活用し、歯周病が進行すると、見た目にどのように影響を及ぼすのかを疑似体験。歯周病の恐ろしさを体感し、予防の大切さに気付いていただくねらいの展示です。



2025年7月17日～9月30日まで、大阪科学技術館のリニューアル記念お披露目会でも展示されました。

体験型ゲーム「菌を探せ!」

見えない菌を検出するオルコアの歯周病菌検出技術を疑似体験できるゲーム。ブースの正面壁にはブラックライト印刷が施されており、UVライトを当てることで隠れた歯周病菌が浮かび上がる仕掛けになっています。



歯周病クイズ

QRコードを活用したクイズを通じて、歯周病に関する知識を分かりやすく発信し、幅広い世代の理解促進を図りました。



動画

歯周病に関する情報とオルコアの紹介を動画で分かりやすく紹介。検査を通じた歯周病予防に対する必要性をお伝えしました。



大阪ヘルスケアパビリオン「リボーンチャレンジ」の 「まちこうばのエンターテイメント! ～みせるばやおモデル～」に出展

ヤマトエスロンとしては、大阪ヘルスケアパビリオン内「リボーンチャレンジ」の一企画である「まちこうばのエンターテイメント! ～みせるばやおモデル～(八尾市)」に出展。
「まちこうばのエンターテイメント! ～みせるばやおモデル～」のコンセプトは『とにかく触る博』。当社は「昔も今もこれからも、100年企業が技術で守るお口の健康!」をテーマに、歯ブラシの歴史・魅力に触れる展示を行いました。



健口＝健康＝健幸をつくる歯ブラシの魅力



歯ブラシの歴史体験展示

約二千年以上前に使われていた歯ブラシから現在のハブラシまでのレプリカに触れることで、歯ブラシの歴史とオーラルケアの進化を体感いただきました。



未来の空想展示

「すべての生き物が歯磨きをする未来」をコンセプトにした普段見慣れない大小様々なサイズの歯ブラシを展示。当社の技術だからこそ制作できる、極小(10mm)／巨大歯ブラシ(1m)を展示しました。



「歯ブラシのれん」展示・くぐり抜け体験

歯ブラシの毛で「のれん」を作成!
のれんをくぐることで自分自身が歯になった体験ができる、歯ブラシの会社ならではの展示です。



➡ ABOUT HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT

人材育成について



まもなく迎える100周年。

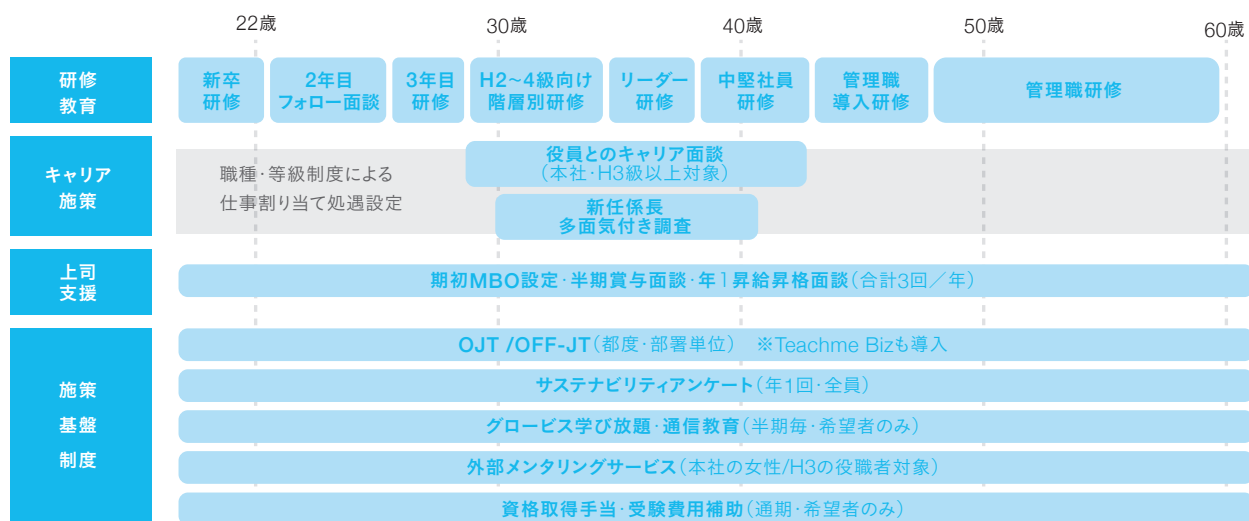
「ワンチーム、共に成長、共に挑戦」をスローガンとし、人材育成に取り組んでいます。



「モノづくり＝人づくり」モノづくりを通じて従業員の成長と幸福を実現する

人材育成 基本方針

- 1 自ら考え、行動し、社会課題を解決できる人材を育成する（社会課題解決）
- 2 ヤマトエスロン行動指針を実践する（行動指針）
- 3 人が育ちやすい職場環境をつくる（職場環境）
- 4 成長する機会を積極的に提供する（機会の提供）
- 5 失敗から学ぶ（失敗学）
- 6 チャレンジした人をより評価する（評価制度）



2026年現在 人材育成マップ(本社) ▲

技術者留学制度

本社と工場の技術者が相互に約1～3か月の出張を行い、スキル向上や業務理解を深めるとともに、組織間連携の強化を図っています。本社技術研究部門で原料、植毛、毛切り、加工のほか、射出成形における不良要因や金型構造を学び、現場力の向上に繋げています。



社内勉強会・交流会の促進

各工場での電気勉強会・PCセミナーなどの実施や、事業所を越えた研修での交流を通じて、知識共有と人材育成の強化を図っています。



改善活動の推進

全工場チーム毎にテーマを決め、1年を通して活動を行っています。年末には全事業所をWEBで繋ぎ優秀賞の発表会を実施し、最優秀賞を決定。全社で個人活動の提案も積極的に実施され、2025年は全社で合計約1,714件となりました。



5S活動の推進

全事業所で5S活動を推進し、全員参加で自己成長と働きやすい職場づくりに取り組んでいます。関東工場では不用品に赤札を貼る「赤札作戦」を実施し、要不要の明確化による整理整頓を徹底しています。



資格取得制度

社内で認定されている資格について、取得に関わる費用を初回は全額会社が負担します。合格した際は表彰内容や難易度により、1万～8万円の賞金が授与されます。該当資格はプラスチック成形技能検定からITパスポートまで多岐にわたります。

社内資格制度

技術職を対象に国家資格の技能検定以外で社内独自の資格制度を設け、歯ブラシ・延伸・押出分野で技能向上の機会を提供。表彰を通じてモチベーション向上を図るとともに、ベテラン社員からの評価や技術の目標標準の共有により、新人にも段階的な成長を実感してもらえる環境づくりを推進しています。



中堅社員研修

現場の中核として成果創出を担う社員がメンバーへの関わり方、リーダーの心得について相互に学び、部下育成およびコミュニケーションの向上を図ります。変化の大きい時代におけるリーダーの役割を再認識するとともに、各拠点の同じ層のメンバー同士が連携を深めることで、組織の結束力強化と中長期的な成長を支える「ワンチーム」の醸成に繋がっています。



➡ CREATING A HEALTHY AND COMFORTABLE WORKPLACE

健康で働きやすい 職場づくり



社員の健康やワークライフバランスに配慮した働きやすい職場づくりを実現しています。

健康促進

健康経営優良法人2026認定

従業員の健康に関連する取り組みが認められ、2023年度から連続して認定を受けています。



健康・予防歯科セミナー

管理栄養士や歯科衛生士の先生をお招きし、健康セミナーや口腔ケア啓蒙のための社内研修&健康測定会を行っています。



インフルエンザ予防接種・歯科検診

インフルエンザ予防接種や歯科検診は全額会社負担。2024年からは100周年に向けた健康促進活動としてオルコアを使用した細菌検査を実施し、ワンチームで健口=健康=健幸を目指しています。



働きやすい職場づくり

全社で残業削減の積極推進

月平均所定外労働時間

🕒 / **11.1** 時間/月

2025年実績

女性活躍推進、育児介護支援

育児介護休業取得率

12名の対象者中
9名が取得

♂ / **66.7** %

男性

♀ / **100** %

女性

2025年実績

有給取得平均日数

🚶 / **13.7** 日/年

2025年実績

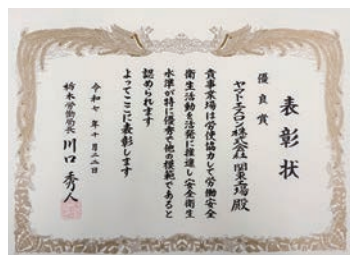
その他の制度や福利厚生

- テレワーク
- フリーアドレス
- 服装自由化
- 結婚、出産、小学校入学祝い金
- 奨学金返済支援制度 (現利用者: 32名)
- 生理用品の設置
- 育児時短勤務 (小学3年生まで取得可能)
- 懇親会への補助
- 工場での職場環境改善 (食堂、トイレ、ロッカーなど)

安全管理に関して

次世代育成支援に関する「くるみん認定」の取得に加え、職場に潜む危険を特定・低減するリスクアセスメントを継続的に実施。

安全管理体制が関東工場での「安全衛生に係る栃木労働局長表彰(優良賞)」受賞などでも評価されており、また新入社員向け教育やグループワークを通じたKY活動などで体系的な安全教育を実施し、安全意識の向上と労働災害防止に努めています。



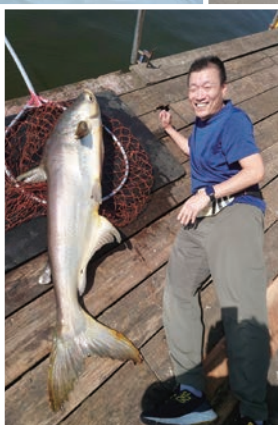
社内イベントや多種多様な

サークル活動を通じたコミュニケーション

社内イベントや全拠点で多種多様なサークル活動を通じて、従業員同士のコミュニケーションを促進しています。

サークル数

36 サークル



サプライチェーンの取り組み

安全で安心な製品を安定供給するため、サプライチェーン全体の連携を強めています。

サプライチェーンサステナビリティ行動指針

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1 従業員の人権を尊重し、非人道的な行為はしない | 5 従業員に対して安全で衛生的かつ健康的な労働環境の提供に努める |
| 2 従業員に対して法令に反する強制労働・児童労働を行わない | 6 製品・サービスの品質・安全性を確保する |
| 3 雇用における性別・人種・宗教等による差別や各種ハラスメントを行わない | 7 事業活動において地域社会と生物多様性・環境汚染への影響に配慮する |
| 4 法定最低賃金を遵守し、従業員の労働時間・休日を適切に管理する | 8 法令および国際ルールを遵守し、公正な取引および腐敗防止を徹底する |
| | 9 機密情報、個人情報を適切に管理する |

物流施策

物流業界では2030年問題として、トラックドライバー不足や輸送能力の低下による約34%の輸送能力不足が懸念されています。こうした環境変化に対応するため、サプライチェーン全体での効率化と安定化に向けた改善活動を推進しています。

改善取り組み

- バラ積みからパレット満載単位納入へ変更
- 長距離輸送における中継便の活用と、お届け日数の延長
- 小口納入からまとめ納入への変更（納入回数減）
- 急な出荷変更の削減
- 従来の4t車（10パレット）から10t車（16パレット）へ変更（ドライバー1人当たりの輸送効率向上）

取り組み事例

納品方法の変更からドライバーさんのドリンク・おしぼりお渡しまで



パレット積み納品の推進



ドライバーへの感謝と熱中症対策の推進



感謝の集い ～タイ会社35周年記念～

2025年7月18日に、取引先やサプライヤーの方を招いてタイ35周年記念「感謝の集い」を行いました。

日頃の感謝を伝えるとともに、オルコア装置での測定も行い、オーラルケアの重要性を認識いただくきっかけにもなりました。



→ CORPORATE GOVERNANCE RISK MANAGEMENT AND COMPLIANCE

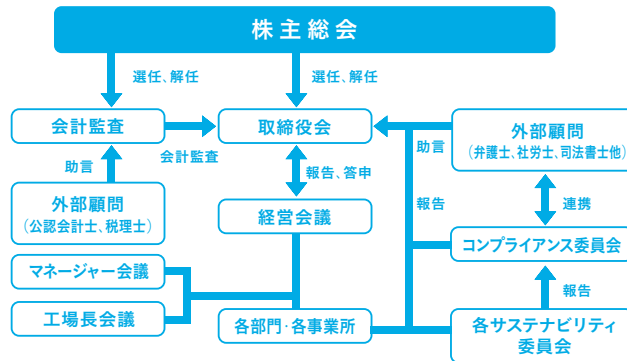
コーポレートガバナンス リスクマネジメント&コンプライアンス



コーポレートガバナンス

取締役会のみならず、各部署長（マネージャー会議、工場長会議）や専門プロジェクトメンバーの意見を取り入れる仕組みが構築されています。また外部顧問として弁護士、社会保険労務士、司法書士、税理士などの専門家からの意見収集を適宜行い、迅速かつ健全な会社運営を行っています。

また社内アンケートや個人面談により従業員との関係性を大切にしており、規則だけでなく、日ごろからの良好なコミュニケーションを取ることで課題となる事項を事前に吸いあげ、よりよい職場環境づくりをしています。



リスクマネジメント

様々なリスクに対して予防活動や拡大の抑止を行っています。自然災害においてはBCPガイドラインを作成し、従業員向けの掲示板の設立など適宜見直しを行っています。従業員の健康リスクにおいて、インフルエンザ接種を会社負担とし全事業所で実施するなど、会社主導でリスク低減を推進しています。

コンプライアンス

企業活動が適切に実施されていることを常に確認し、従業員が高い倫理観を持ちコンプライアンスの徹底を意識した取り組みを進めています。技能実習生の受け入れにおいても、お互いの文化を学ぶ機会を設けるなど、国籍を問わない人間尊重の精神が根付いています。

サステナビリティ活動

サステナビリティ経営の推進に向け、外部評価および国際的枠組みへの参加を進めています。EcoVadisによる評価では、上位15%に該当する「シルバメダル」を獲得しました。

また、2025年以来、ヤマトエスロンはUNグローバル・コンパクトの企業責任イニシアチブおよびその人権、労働、環境、腐敗防止の各分野における原則に取り組んでいます。今後もこれらの取り組みを通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



情報セキュリティに関する方針

自社の情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、全社で情報セキュリティに取り組む。

中長期目標 2030年まで継続して毎年情報漏洩ゼロを目指す。

個人情報の対象例：取引先の従業員・役員に関する個人情報、お問い合わせ・相談等の申出者等に関する個人情報、採用応募者に関する個人情報など

1. 経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努める。
2. 情報セキュリティの維持及び改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策のための社内体制を整える。
3. 従業員は、情報セキュリティのために必要とされる知識・技術を定期的に習得し、情報セキュリティへ積極的に取り組む。
4. 当社は情報セキュリティに関わる法令、規則、規範、契約上の義務を遵守するとともにお客様の期待に応える。
5. 情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故が発生した場合には、適切に対処し再発防止に努める。
6. コンピューター・ネットワーク上の脅威に対する防衛策を講じて、自社及び他社に被害を与えないように管理する。
7. 顧客・第三者・従業員の個人情報を適切に保護する。
8. 顧客・第三者から得た機密情報を適切に管理・保護する。

※この方針は年1回見直しを行い、必要に応じて修正する ※情報セキュリティ委員会が担当し、グループ会社を含む従業員を対象とする

会社情報

社 名 ヤマトエスロン株式会社

所 在 地 【本社】
〒581-0803
大阪府八尾市光町1丁目61番地 八尾駅前嶋野ビル4階
TEL.072(991)1261(代表) FAX.072(993)7856

代 表 者 代表取締役社長 松永 貴至

設 立 年 月 日 1956年3月15日(創業1928年8月9日)

資 本 金 1億円

従 業 員 数 565名(2025年9月集計)

主 な 事 業 内 容 各種合成樹脂製品の製造販売、
歯ブラシ・歯間ブラシ・ヘアブラシ及び
各種ブラシの製造販売、化粧品容器の製造販売

歴史

昭和3年に大阪府八尾市にて歯ブラシメーカーとして創業スタート。八尾市は歯ブラシの一大生産地であり、当社は大手企業のOEM(相手先ブランド)生産を中心にオーラルケア製品のトップメーカーとして発展。独自の技術開発により、植毛から最終パッケージまで自社内で一貫生産し、日本だけでなくグローバルに製品を提供しています。



『1977年ごろの植毛作業』



『草創期の歯ブラシ』